

令和6年度 3年 英語科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

<p>学年末の到達目標</p> <p>「英語を使ってコミュニケーションを図るために必要な音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、まとまった情報や考えを理解したり、相手に伝えたりすることができる。」</p> <p>『知識・技能』：言語の働きや役割、背景にある文化に対する理解を深め、実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的及び応用的な技能を身に付ける。</p> <p>『思考・判断・表現』：英語を用いて日常的、社会的な話題について、場面や状況に応じて、自分の考えや理由などを工夫して表現することができる。</p> <p>『主体的に学習に取り組む態度』：自分の考えや気持ちなどを積極的に相手に伝えようとしたり、相手の考えなどを理解しようとしたりする。</p>
--

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 定期考査 パフォーマンステスト 音読テスト ワークシート 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 パフォーマンステスト 原稿 定期考査 ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 授業観察 パフォーマンステスト ワークシート

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4	Unit 1 School Life Around the World	8	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 受け身の文を使ったスピーチを聞いたり、受け身の文を使って話したり書いたりする。 let/help+人・もの+動詞の原形を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 <tell+人+that>+文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ルワンダの学校紹介のブログを読んで内容を理解し、自分の意見を発表する。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 受け身の文を使ったスピーチから、その人が見せたものとその説明を聞き取ることができる。 受け身の文を使って、ものを説明することができる。 受け身の文を使って、ものを説明する文を書くことができる。 help+人+動詞の原形を使った会話から、誰にどんなことを手伝ってもらったかを聞き取ることができる。 help+人+動詞の原形を使って、自分を手伝ってくれた人のことを伝えることができる。 help+人+動詞の原形を使って、自分と友達が話した内容を書くことができる。 <tell+人+that>+文を使った会話から、先生が教えてくれたことを聞き取ることができる。 <tell+人+that>+文を使って、身の回りの誰かによく言われることを伝えることができる。 <tell+人+that>+文を使って、身の回りの誰かによく言われることを書くことができる。 学校紹介の記事を読み、その国の学校生活の様子を理解している。
	Your Coach1 考えや意見をやりとりしよう	2	<ul style="list-style-type: none"> 題材に対する自分の意見や考え理由を述べたりする。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> I think~because/I agree with you. などを用いて、自分の意見を述べたり、やりとりすることができる。
	Daily Life1	1	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの意見や最終的な結論を聞き取る。 	○			<ul style="list-style-type: none"> それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。

5	<div data-bbox="140 159 209 188" data-label="Section-Header">Unit2</div> <div data-bbox="140 199 327 228" data-label="Text">Our School Trip</div>	9	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ・現在完了形の「完了」の肯定文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ・現在完了形の「完了」の疑問文や否定文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ・現在完了形の「経験」の用法を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 ・現在完了形の「完了」の肯定文を使った会話から、その人が既にしたことを聞き取ることができる。 ・現在完了形の「完了」の肯定文を使って、電話でのやり取りを演じることができる。 ・現在完了形の肯定文を使って、自分と友達が行った会話を書くことができる。 ・現在完了形の疑問文を使った会話から、既にしたこととまだしていないことを聞き取ることができる。 ・現在完了形の疑問文を使って、今日既にしたことをたずね合うことができる。 ・友達が既にしたこととまだしていないことを書くことができる。 ・現在完了形の「経験」の用法を使った会話から、その人が経験したことを聞き取ることができる。 ・現在完了形を使って、経験したことをたずね合い、会話を続けることができる。 ・現在完了形を使って、自分と友達の話したことを書くことができる。
	<div data-bbox="140 969 220 999" data-label="Section-Header">Daily2</div> <div data-bbox="140 1010 264 1039" data-label="Text">留守番電話</div>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会話から、おすすめの場所やそこでしたことなどを聞き取るとともに、友達にすすめるものを考える。 ・留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りを行う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行に適した場所を知るために、お勧めの場所やそこでしたことなどを聞き取り適切に理解している。 ・留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。

6	<p>Unit3 Lessons from Hiroshima</p> <p>Active Grammar1 現在完了形 現在完了進行形</p>	9	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 現在完了形の「継続」の用法を使った会話を聞いたり、現在完了形の「継続」の用法を使って話したり書いたりする。 現在完了進行形を使った会話を聞いたり、現在完了進行形を使って話したり書いたりする。 <It is ~ (for 人)+to+動詞の原形>を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ピースボランティアの西村さんの手記を読んで、西村さんの経験や心情などを読み取る。 手記を読んで考えたことや感じたことを、その理由などといっしょに発表する。 現在完了形（完了・経験・継続）／現在完了進行形を復習する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 現在完了形の「継続」の用法を使ったインタビューから、その人が継続していることを聞き取ることができる。 現在完了形を使って、継続している期間などをたずね合うことができる。 現在完了形を使って、自分と友達が継続していることを書くことができる。 現在完了進行形を使った会話から、人が続けていることなどを聞き取ることができる。 現在完了進行形を使って、せりふを考えて言うことができる。自分が考えたせりふを書くことができる。 It is ~ (for 人)+to+動詞の原形を使った会話から、意見や判断を聞き取ることができる。 It is ~ (for 人)+to+動詞の原形を使って、自分の意見や判断を伝え合うことができる。 自分にとって「難しいこと」などを書くことができる。 西村さんのことを知るために、西村さんの経験や心情などを読み取り、適切に理解している。 自分の考えや感想を友達に伝えるために、考えや感想を整理して、その理由といっしょに適切に発表している Unit 2, 3のストーリーを読んで、現在完了形や現在完了進行形を使った文に○印を付け、その意味を確かめることができる。
7	<p>Let's Read1 From the Diary of Kawamoto Itsuoyoshi</p> <p>World Tour1</p> <p>You Can Do It!</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> 戦争中の中学生の考えや生活の様子を想像し、日記の内容をつかむ。 日記の前半・後半部分から、河本くんの身の回りの出来事と気持ちを読み取る。 出来事と河本くんの気持ちを整理し、自身の中学校生活との類似点・共通点や河本くんの気持ちについて話し合う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 日記から出来事や気持ちを読み取ろうとしている。 日記を読んで、内容を理解することができる。 書かれていることと自分の考えを整理し、伝え合っている。 友達と積極的に伝え合おうとしている。
		2	<ul style="list-style-type: none"> 説明を聞き絶滅危惧種の現状やその原因について知り、動物たちのためにできることを話し合う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅危惧種の数などの情報を正確に聞き取ることができる。 動物たちのためにできることを友達と話し合おうとしている。
		2	<ul style="list-style-type: none"> 説明を聞いて内容を理解し、写真の相違点を発表したり、50年後の町の変化を予想し整理して発表する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。 過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、町の変化を予想して述べたりすることができる。

9	<p>Unit4 AI Technology And Language</p> <p>Let' s Read2 Robots Make Dreams Come True</p> <p>Daily Life3 ポスター</p>	9	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 関係代名詞 which が主語となる文を使った説明を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 関係代名詞 who が主語となる文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項を理解する。 関係代名詞 that が主語となる文を使ったクイズを聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 関係代名詞 which を使った説明から、ロボットの特徴を聞き取ることができる。 関係代名詞 which を使って、自分が欲しいロボットを伝え合うことができる。 関係代名詞 which を使って、自分と友達が欲しいロボットを書くことができる。 関係代名詞 who を使った会話から、その人がどんな AI 機器を使っているかを聞き取ることができる。 関係代名詞 who を使って、AI 機器を使っている人について伝え合うことができる。 関係代名詞 who を使って、AI 機器を使っている人について書くことができる。 関係代名詞 that を使ったクイズを聞いて、問題に答えることができる。 関係代名詞 that を使ってクイズを作り、出題することができる。 関係代名詞 that を使って、クイズの問題を書くことができる。 投稿文のどれが登場人物の意見に近いかを知るために、投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取り、適切に理解している。 投稿文についての感想や意見を伝えるために、自分の意見を整理し、理由や例とともに文章の組み立てを考えて書いている。
		4	<ul style="list-style-type: none"> 自動翻訳機についての 4 つの投稿文を読み、登場人物の意見に近いものを選ぶ。 投稿文に対する感想や意見を書き、お互いに読み合う。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、内容を理解することができる。
		1	<ul style="list-style-type: none"> ロボットについて興味をもち、現代社会のさまざまな場面でロボットが役割を担っていることを理解する。 OriHime の説明文を読んでおおよその内容をつかんだ後、OriHime が誰にとって、どのように役立つかを理解する。 ポスターを読んで、呼びかけていることを理解し必要な情報を読み取る。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 説明文の趣旨を読み取っている／読み取ろうとしている。 ポスターを読んで、呼びかけていることを理解し、必要な情報を読み取ることができる。

10	<p>Unit5 Plastic Waste</p> <p>Daily Life4</p> <p>英語劇</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 関係代名詞 which が目的語になる文を使った話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 関係代名詞 that が目的語になる文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 文による後置修飾を使った話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 段落ごとのプレゼンテーションの記事を読み、話の流れを読み取り、正しい順序でつなげる。 ペアで、プレゼンテーションの記事を読んで感じたことや考えたことを伝え合う。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 関係代名詞 which を使った韓国文化の紹介から、内容を聞き取ることができる。 関係代名詞 which を使って、日本の文化を紹介することができる。 日本の文化を紹介する文を書くことができる。 関係代名詞 that を使った会話から、その人が説明したものを聞き取ることができる。 関係代名詞 that を使って、自分の持ち物を説明し、会話を続けることができる。 自分の持ち物を説明する文を書くことができる。 後置修飾を使ったプレゼンテーションから、その人がしている活動の内容を聞き取ることができる。 後置修飾を使って、自分がしている活動について伝え合うことができる。 自分や友達が行っている活動について書くことができる。 正しい順序でつなげるために、プレゼンテーションの記事から話の流れを読み取っている。 プレゼンテーションの記事から、話の流れを考えようとしている。 お互いの考えを知り合うために、記事を読んで感じたことや考えたことを適切な表現を使って伝え合っている。 自分の感想や考えを積極的に友達に伝えようとしている。 ニュースから、どんな会議が、いつ、どこで開かれたかを聞き取ったり、参加者の話の内容を理解したりすることができる。 参加者が述べた意見を説明することができる。 積極的に練習を行おうとしている。 観客に聞こえるような大きな声ではっきりとセリフを言っている。
11	Unit6	8	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 動詞の-ing 形による後置修飾を使った会話を聞いたり、動詞の-ing 形による後置修飾を使って話したり書いたりする。 過去分詞による後置修飾を使った会話を聞いたり、過去分詞による後置修飾を使って話したり書いたりする。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 動詞の-ing 形による後置修飾を使った会話から、絵の中のどの人物が話題になっているかを聞き取ることができる。 後置修飾を使って、絵の中の人物の名前をたずね合うことができる。 絵の中の人物を説明する文を3つ書くことができる。 過去分詞による後置修飾を使った会話から、いくつかの文化財の話に出てきた順序を聞き取ることができる。 後置修飾を使って、日本の文化財を紹介し合うことができる。 日本の文化財を紹介する文を3つ書くことができる。

			<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文を使った会話を聞いたり、間接疑問文を使って話したり書いたりする。 ・「鳥獣人物戯画」の説明を聞いて、どの絵のことを説明しているかを考える。 ・絵の中から動物を選んでふさわしいせりふを考え、どの動物のせりふかを当てるクイズを出し合う。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文を使った会話から、登場人物が知っていたことと知らなかったことを聞き取ることができる。 ・間接疑問文を使って、ALTについて知っている情報を伝え合うことができる。 ・ALTについて知りたいこと書くことができる。
	Active Grammer 後置修飾	2	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の後ろに説明を追加するさまざまな言い方を理解する。 ・関係代名詞の使い方を理解し、後置修飾の使い方に慣れる。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・どの絵を説明しているかを知るために、絵の説明を聞いて内容を理解している。 ・絵の場面にふさわしいせりふを考えて、クイズを出し合っている。 ・絵の場面にふさわしいせりふを積極的に考えようとしている。
	You Can Do It! 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の生徒の提案を読んで賛否の立場を決め、その理由を整理する。 ・グループで賛成派と反対派に分かれて意見を述べ、最終的にそれぞれの人数を確認する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・提案に対する賛否を決めるために、2人の生徒の提案とその理由を読み取り、適切に理解している。 ・提案に対する賛否や自分の意見とその理由などを話すことができる。 ・提案に対する自分の意見を伝えるために、賛否の立場をはっきりさせて、その理由を適切に伝えている。 ・友達に納得してもらえるように、意見とその理由を伝えようとしている。
	Your Coach2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある英文を書く。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉を使い、まとまりのある英文を書くことができる。
12	Unit7 Tina's Speech	7	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ・疑問詞+to+動詞の原形を使った会話を聞いたり、疑問詞+動詞の原形を使って話したり書いたりする。 ・If...の仮定法を使った会話を聞いたり、If...の仮定法を使って話したり書いたりする。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 ・疑問詞+to+動詞の原形を使った会話から、その人がやり方を知っていることと知らないことを聞き取ることができる。 ・疑問詞+to+動詞の原形を使って、あることのやり方を知っているかどうかをたずね合うことができる。 ・疑問詞+to+動詞の原形を使って、自分がやり方を知りたいものを書くことできる。 ・If...の仮定法を使った会話から、その人が「もし～だったら」どうするかを聞き取ることができる。 ・If...の仮定法を使って、「もし～だったら」どうするかをたずね合うことができる。 ・If...の仮定法を使って、「もし～だったら」どうするか書くことができる。

	World Tour2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のスピーチを聞いて、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取る。 ・グループになり、今の自分の様子を伝えるスピーチをする。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手がいちばん伝えたいことを知るために、スピーチを聞いて内容を適切に理解している。 ・スピーチを聞いて、話し手がいちばん伝えたいことを捉えようとしている。 ・「今の自分」を伝えるために、テーマと話す内容を整理して、適切な表現を使ってスピーチしている。 ・声の大きさや発音、イントネーション、アイコンタクトなどに配慮している。
	Let's Read3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・世界を100人の村にたとえた文章を読んで、世界の現状を知り、感想や意見を友達と話し合う。 ・地球環境の危機についてセヴァンさんが訴えていることを理解する。 ・セヴァンさんがいちばん伝えなかったことを考え、スピーチに対する自分の考えを伝え合う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・世界を100人の村にたとえた文章から、さまざまな情報を読み取ることができる。 ・世界の現状や未来について、友達と積極的に話し合おうとしている。 ・スピーチの内容を理解することができる。 ・スピーチ原稿を読んで、要点を捉えている。 ・自分の考えを伝えたり相手に質問したりしようとしている。
1	Unit8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ・I wish...の仮定法を使った会話を聞いたり、I wish...の仮定法を使って話したり書いたりする。 ・3人の登場人物が大切な人に宛てた手紙を読んで、書き手のいちばん伝えたいことを読み取る。 ・大切な人に宛てて自分の気持ちを伝える手紙を書く。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 ・I wish...の仮定法を使った会話から、登場人物が選んだ写真とその人の言葉を聞き取ることができる。 ・I wish...の仮定法を使って、自分の願いとその理由を出し合うことができる。 ・I wish...の仮定法を使って、自分の願いとその理由を書くことができる。 ・書き手がいちばん伝えたいことを知るために、手紙を読んで内容を理解している。 ・手紙を読んで、書き手の気持ちを考えようとしている。 ・大切な人に宛てて自分の気持ちを伝えるために、適切な表現を使って手紙を書いている。
	You Can Do It3 3年間を締めくくる言葉を考えよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を織り込んだ詩を読んで、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気付いたりする。 ・好きな単語を織り込んだ詩を書いて、お互いの作品を読み合う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を織り込んだ詩を書くことができる。 ・3年間を締めくくる言葉としてふさわしい詩を作ろうとしている。
	Let's Read More 1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事の経過を整理しながら伝記を読む。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文章のまとまりを意識してエピソードを読み、概要や要点を捉えようとしている。 ・エピソードの概要を捉えている。 ・エピソードの要点をふまえて、カルナナンダ選手の思いを自分の言葉でまとめている。
	問題演習	3	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の総復習を行う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・既習文法を理解し、正しく運用できている。

2	Let's Read More 2	3	・物語の舞台，時代・社会背景を理解し，内容を理解する。	○	○	○	・出来事の経過を整理しながら伝記を読み，出来事と杉原の思いを捉えようとしている。
	問題演習	5	・3年間の総復習を行う。	○	○	○	・物語を読んで，内容を理解することができる。 ・既習文法を理解し，正しく運用できている。
	Let's Read More 3	3	・物語のあらすじをつかみ，登場人物の行動と気持ちを読み取る。	○	○	○	・物語のあらすじをつかんでいる。 ・物語を読んで内容を理解することができる。 ・トムが発見した人間行動の法則について，読み取ったことや自分の経験をふまえて考え，伝え合おうとしている。
3	3年間の総復習	1	・これまで学習したことを復習する。	○			・既習事項を理解している。
	5行詩づくり	2	・自分が大切にしているものについて，名詞・動詞・形容詞などを用いて，詩の形で表現する。	○	○	○	・既習の表現を使ったり，辞書を使ったり，よりよい文章になるように書き直すなどして，意欲的に書いている。
	映画鑑賞	3	・台詞を通して，様々な表現を学習する。 ・映画の背景を学び，他国の歴史と文化を理解する。 ・感想を英語で表現し，共有しあう。	○		○	・様々な表現を理解している。 ・積極的に学ぼうとしている。
							・自分の考えを英語で適切に表現し伝えようとしている。